

Kyoto tango

京丹後市議会だより



雪だるま 写真提供：安達 寛将さん（大宮町）



Schedule

- 2月27日 本会議(招集日)
- 3月11日 本会議(一般質問)
- 3月12日 本会議(一般質問)
- 3月13日 本会議(一般質問、議案審査)
- 3月27日 本会議(最終日)



Photo

令和7年5月発行 議会だより京丹後の表紙写真
(発行時期にあった写真)を募集します。

お問い合わせは議会事務局へ

☎ 0772-69-0010

✉ gikaisomu@city.kyotango.lg.jp



京丹後市議会



京丹後市議会
議長 中野 勝友

安心して、健やかに、 笑顔で暮らせる京丹後に

皆様におかれましては、晴々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は元日に発生した能登半島地震に加え、台風や記録的な豪雨による土砂崩れや浸水被害が頻発するなど災害の多い年でした。また、世界の情勢も目まぐるしく変化する中、日本を取り巻く安全保障環境は厳しさを増しています。国内では、20年ぶりとなる新紙幣を発行し、経済の潤滑油と期待されていますが、物価高騰に賃金が追いついていない中、生活への影響も懸念されています。

野・豊岡間ルート案が示されており、本年4月からは、宮津天橋立より京丹後大宮の間が有料化となります。将来のまちづくりを展望し、全線開通へ向け、皆様のご理解とご協力をいただきながら大きく前進させたいと願っております。

本年は乙巳（へきのとみ）。しなやかに伸びる草木を表し、困難があっても紆余曲折しながら進むことを意味します。努力を重ね安定させる縁起の良さを表しています。

これまでの皆様の努力が暮らしの安定につながるように、議会といたしましても引き続き取り組んでまいります。

令和6年度京丹後市一般会計補正予算

補正総額（第6号・7号）17億2015万円 補正後予算額 468億1746万円

●補正総額（第6号）……………12億 263万円（うち合併特例債10億2875万円）

丹後王国展望台跡地活用事業、ブロードバンドネットワーク整備事業、橋梁・河川等改修事業、社会体育館トイレ洋式化事業、峰山小学校グラウンド擁壁改修事業、網野北小学校下水道接続事業、観光指定管理施設改修事業など13事業を計上

◆丹後王国展望台跡地等活用 遊具設置等……………4億7900万円

丹後王国「食のみやこ」利用促進に向け、丹後王国展望台跡地等の活用経費 展望台跡地に大型遊具設置、園路整備、安全対策、昆虫館をトイレ等休憩施設として改修（工事監理900万円 工事費 4億7千万円）

※令和8年3月完成予定

◆社会体育館トイレ洋式化等……………7231万円

●補正総額（第7号）……………5億 1752万円

◆人事院勧告に準拠した人件費の増減調整……………2億9329万円

◆住民税非課税世帯・低所得者の子育て世帯加算給付金……………2億1728万円

物価高騰対策として、上記世帯へ給付する事業（給付時期 令和7年2、3月頃）

補正第6号主な質疑

問 今年度中で合併特例債の期限を迎える中、総額で約12億円の補正予算のうち、合併特例債を活用した事業が13事業で、約10億円を超えている。駆け込み感を強く感じるが、計画的に早くから取り組むべきではなかったのか。

答 中長期的な財政効率化を果たしていく上で適切な判断。将来の義務的な歳出を見越し、合併特例債が使えなくなる前に適切に駆け込み措置として実施した。

◆丹後王国展望台跡地等活用 遊具設置について

問 議会からランニングコースおよび更新費用に係る負担割合と財源確保策、受益者負担の考え方についての附帯意見があったが、どのように整理をされたのか。

答 修繕は30万円以下は丹後王国「食のみやこ」が管理者として、30万円以上は市が実施する。遊具の耐用年数を25年間で試

算すると、ランニングコストと修繕費は9152万円となる。しかし、新たに市の負担金を増やすのではなく、毎年丹後王国「食のみやこ」に負担金2864万円を支払っている中、ランニングコスト、修繕費の負担も検討している。受益者負担について、時間をかけながら丹後王国「食のみやこ」、丹後ブルワリー、テナントと協議していく。

問 遊具設置に伴い、経済効果の試算は。

答 10年間で約5億2024万円の経済効果を見込んでいる。

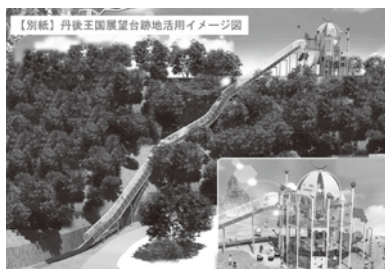
問 誘客試算が令和17年まで2割増を維持している根拠は。

答 城陽市「ロゴスランド」が同様の遊具を設置した際、増加率が127%であり、増加率のベースとなる数字が二十数%よくなっていた。その数字から増加率を2割と試算した。よって、現況の20万人から2割増加見込みで、24万人と試算した。

問 遊具総額経費のうち、

市の負担額はいくらか。

答 合併特例債は4億5500万円。3割が市の負担となり、当初の2400万円を合わせると市の負担額は1億6050万円となる。



設置が決まった大型遊具（イメージ図）

意見交換

●総額12億円余りの補正予算のうち約9億円は合併特例債である。観光施設や農業用施設の改修に充てられるが、計画的な活用がされなかった。特に丹後王国の遊具整備については、過去の経緯からみても、京丹後市管理エリアは長年に渡り放置されてきた。市民から怠慢と指摘されており、この指摘を真摯に受け止めるべきである。

●市民負担の軽減のため、

合併特例債の活用を積極的に行うべきだと考えるが、駆け込み感が否めず、計画性を欠いた事業推進は問題である。王国タワー跡地活用の課題は早期に取り組むべきであった。今後は計画的な執行とスピード感が必要である。

●丹後王国の大型滑り台の耐用年数は25年で大規模修繕費用は3千万円、除却費用については明言がなかった。現在でも施設の維持管理修繕が追いついていない中、除却まで含め維持管理ができるのか疑問である。また、この整備が関係事業者や子育て世代だけでなく市民福祉にどこまで寄与するのか。合併特例債を活用しても市の負担が1億6千万円となり、市民の理解が得られない。

修正案に賛成討論

に対する質疑が行われ、結果、修正案は否決されました。

●農林水産事業に係る主体的な取り組みメニューが示されたが、施策の羅列だけで効果や展望が不明で、地域活性化と所得向上に疑問。

●補正予算の4割を占める事業費は本市の財政状況から身の丈に合っていない。

●市が試算する経済効果や誘客においても実現できるのか疑問である。駐車場から遠く、安全面からも不安要素が多くある。

【賛成5・反対13・退席1で否決】

原案に賛成討論

●丹後地域の農業発展に繋がる農業施策の推進や他の施策と連携して取り組んでいくことが確認された。一定設備投資をする中で農業公園として、再度にぎわいを取り戻していく必要がある。

上した。

意見交換

●都市拠点整備に関して、基本計画に基づく公民連携の推進に違和感と疑問がある。現状に即した都市拠点施設の議論と柔軟な公民連携が必要と考える。

【全員賛成で可決】

故・谷垣雄三氏を
京丹後市名誉市民に選定

【賛成13・反対5・退席1で可決】

補正第7号主な質疑

問 都市拠点公共施設に関する公民連携検討経費の内容は。

答 当初の計画地であった、しんざん小学校の隣接地とは別の場所を検討するための経費。

問 6月補正と今回の補正に公民連携検討経費が改めて必要なのか。

答 6月補正予算の際は、市の全体的な公民連携の在り方を検討する経費。今回は具体的な施設に特化し、専門家の助言をもらうための経費として計



Dr.タニ hitotsuguの麦

【全員賛成で同意】

故・谷垣雄三氏をモデルに作成された絵本「Dr.タニ hitotsuguの麦」を作者の荻野真作さんと谷垣氏と同級生の平井英子さんから議会図書室へご寄付いただきました。

峰山織物センターの一室を 地域コミュニティ活動拠点に

問 峰山織物センターを地域コミュニティの拠点として占用使用する背景は。

答 現在、34地域で新たなコミュニティの準備を進めているが、地域内に適当な施設がなく、16の地域から市の施設使用の相談がある。

その中で条例改正が必要なのが峰山織物センターのみである。峰山東地区は公民館があるが、老朽化、トイレも男女兼用トイレ、畳部屋のみという課題がある。



新コミュの拠点となる峰山織物センター

問 市の施設を使う場合と自前の施設を使用した場合との費用負担の考え方は。

答 どちらの場合においても市から支援をしている。自前の施設を使用した際は、京丹後市地域振興対策事業補助金の中で、地域の集会施設などを修繕、改修する。

意見交換

● 現在、市の施設を利用したいという団体が16団体あるが、今後、新たな地域コミュニティの取り組みが進むにつれて増えていく可能性がある。

● 市の施設を新コミュニティの用途に活用する場合、何らかのルール的な取り決めや方針というものを示す必要があると考える。

【全員賛成で可決】

農と食のまちづくりの総合的な振興へ 京丹後市とJA京都との包括連携協定締結

問 この包括連携協定の締結により、今後の追加予算はあるのか。

答 予算拡充はない。市が新規事業をする際、JA京都など既存の組織と連携し、事前相談や情報収集を考えている。

問 京丹後市農産品のブランド化が目指すところ

答 京丹後市のブランド化は、有機JAS基準に基づきつつ、京丹後の郷土愛を取り入れた独自基準を設定し、差別化と付加価値を高める取り組み、品質管理の専門家を活用してブランドを確立する。

問 JA京都が、この包括協定を結ぶ狙いは。

答 JA京都は中長期的な柱に、持続可能な地域・組織・事業基盤の確立を掲げ、地元自治体との防災協定や高齢者の見守り、地域振興に対する包括連携協定などを掲げ取り組

んでいる。

意見交換

● 昨今のJA京都が広域化をされ、さまざまな取り組みがスピーディーに行えないという事情があったの包括連携協定に至ったものである。

● 農協が農家から遠くなったというような話を聞く中で、市が間に入り、諸状況を打破して、地域の農業振興にしっかりとつなげるよう各種の取り組みをしていただきたい。



農業振興へ一層の連携強化を



地元農産物の直売所

賛成討論

● 農業の総合的な振興や人材育成、環境保全型農業、ブランド力ある農業の推進、農業体験などを通じた交流の促進、美食都市のまちづくりの推進に資する。

また、災害時の物資供給や避難施設の提供をはじめ、防災、減災の推進に大きく寄与するものである。

【全員賛成で可決】

旧浜詰小学校跡地を社会福祉法人に譲渡

問 事業者の選定基準は。

答 公共性や地域振興も考慮されるが、得点に直接結びつく絶対評価ではない。買取り金額で福祉会が上回ったため、総合点で選定した。

意見交換

● 社会福祉法人がデイサービス事業を行うと説明を受けた。職員の確保が厳しい状況にあるが、配置は大丈夫と答弁があった。大勢の市民が利用できるように取り組んでいただきたい。

【全員賛成で可決】



丹後福祉会に譲渡する旧浜詰小跡地

新たな活動として、各常任委員会では市長に対し政策提言を行います。政策提言の実現に向け、市の諸課題を明らかにし、課題解決のため市内外の調査活動・市民との懇談・議員間討議を進めています。

産業建設常任委員会

政策提言
テーマ

『雇用促進(人材確保)について』

テーマ選定理由



由利委員

少子高齢化に伴い、労働力人口も減少しており、本市の産業において人材不足の問題が深刻化しています。特に、製造業や農業など、地域の経済を支える主要な産業においては、労働力の確保が難しくなっています。これにより、事業の継承や拡大が困難となり、産業自体の存続が危ぶまれる状況です。そのため「本市で働きたい」と思う人を増やすとともに、求人側と求職者側のミスマッチをどのように解消するかを検討していきます。



櫻井委員長

これまでの活動

- ◆ 11回の所管事務調査と1回の市内視察を実施
10/19 「きょうたんご就職フェア2024」の視察・調査



田中副委員長



谷津委員

これまでの活動を通じて

- ◆ 市は、さまざまな施策を行っているが、担当が商工や市長公室など各部局にまたがるため、情報共有が十分とは言えない。連携を取り、抜け目ない支援の重要性を感じた。



鳴海委員

今後の活動

- ◆ 「京丹後市 若者の暮らしに関するアンケート」を作成された研究者とゼミ学生との意見交換、市外視察を予定
- ◆ 市内の事業者やハローワークへの聞き取り調査の実施予定



源委員

外での活動

令和6年10月19日（土）大宮社会体育館で開催された「きょうたんご就職フェア2024」の視察を行いました。そこでは、幅広い世代の来場者へ雇用に関する聞き取り調査を実施し、各世代間の市民の考えを直接聞くことができ、有意義なものとなりました。



きょうたんご就職フェア 2024 にて

総務常任委員会

政策提言
テーマ

『消滅可能性自治体からの脱却』

テーマ選定理由



多賀野委員

本市は、少子高齢化に伴う人口減少という課題に直面しています。人口戦略会議による「消滅可能性自治体」へ分類されたことは、この状況の深刻さを浮き彫りにしました。人口減少は財政や社会保障など市民生活のあらゆる側面に影響を及ぼし、本市の将来を大きく左右する重要な課題と捉えています。



和田委員長

これまでの活動

- ◆ 14回の所管事務調査と1回の市外視察を実施。
- 10/2 京丹後市 移住支援センター（丹後暮らし探究舎）担当者との意見交換
- 10/29 豊岡市 前市長中貝氏との意見交換



永井副委員長

これまでの活動を通じて

長期的な視点からまちづくりを考えたときに、持続可能で安定的な人口減少対策が必要。本市においては出生率が比較的高い水準にあることから、若年女性に選ばれようなまちづくりを積極的に進めることが効果的であると考えます。



野木委員



吉岡委員

今後の活動

引き続き市役所の所管課および市内関係団体への所管事務調査を実施するとともに、先進地事例の調査を行うために、市外視察の調整を進めております。



東田委員

外での活動

政策提言の取り組みの一環として、豊岡市の中貝前市長のジェンダーギャップについて話を伺ってきました。若年女性の視点に立ち、世界に通用するローカルを磨くための政策を積極的に取り組んできた経緯についても伺いました。



豊岡市の中貝前市長との懇談



平林委員

文教厚生常任委員会

政策提言
テーマ

『子育ての理念条例の制定』

テーマ選定理由



佐久間委員

京丹後市では子育て環境日本一を掲げていますが、現実として市民などへの理解・浸透が十分ではないと考えています。さらに子育て世代への支援政策に関するアンケートでは、①仕事と家庭の両立と働き方の見直し、②子育てにおける経済的な負担の軽減、③安全安心の子育て環境整備などを望んでいる声が上がっています。

そのため、まち全体で子育てを応援できる環境を整えるためには「理念条例などの制定」が必要であると委員会で共有しました。



橋本委員長

これまでの活動

- ◆17回の所管事務調査と3回の市内視察を実施
- 11/10「1日こども広場」の視察（久美浜会場）
- 11/11「麦わら」の視察
- 11/27 峰山放課後児童クラブの視察
- 12/19 子育て団体との懇談



松本委員

これまでの活動を通じて

担当部局への所管事務調査や子育て支援団体への聞き取りなど、実際に施設に行き、その中で、「子どもの意見を聞く」ことが大事だと再認識しました。

不登校、放課後児童クラブ、病児、病後児保育、遊び場の在り方などいろいろな角度から声を聴く中で、京丹後市独自の「子育ての理念条例」の必要性を感じました。



小牧委員



山本委員

今後の活動

- ◆子育て関係の条例を制定している先進地視察を行う予定
- ◆子育て条例の研究者に条例制定のポイントなどについて意見交換を行う予定
- ◆子育て団体や子育てサークルなどとの懇談。男女共同参画、市内子育て施設や教育施設などの所管事務調査を行う予定

外での活動

久美浜公会堂にて開催された「1日こども広場」を視察しました。屋内に大型の遊具や、目新しく興味のわく玩具で多くの親子が楽しい時を過ごされていました。



1日こども広場の様子



池田副委員長

市政を問う

12月定例会 一般質問

一般質問は、令和6年12月11日、12日、13日の日程で行い、19人の議員が登壇し、議論を交わしました。

一般質問とは…議員が、市政運営全般にわたり、問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めるものです。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市議会ホームページで配信していますのでご覧ください。

パソコンやスマートフォンで議会の中継・録画が視聴できます。>>>

京丹後市議会

検索



<https://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/>

一般質問

自主防災組織の強化に補助率の引き上げと拡充を

市長 他自治体の事例を参考に検討する



翔和会
ゆりあきもと
由利彰基

問 補助内容は資機材だけでなく、備蓄品などの防災全般に係る経費も補助対象として拡充すべき。

市長 順次拡充してきました。今後も自治区のニーズを踏まえつつ、さまざまな角度から拡充と見直しを検討し支援を積極的に推進していく。

問 小集落の防災対策は脆弱性が高いため、地域振興対策事業補助金にあるように補助率の引き上げをすべき。

市長 小集落の財政規模は小さいため、補助率の上乗せも他自治体の事例を参考にしながら、さまざまな視点で検討していく。

問 補助内容は資機材だけでなく、備蓄品などの防災全般に係る経費も補助対象として拡充すべき。

市長 順次拡充してきました。今後も自治区のニーズを踏まえつつ、さまざまな角度から拡充と見直しを検討し支援を積極的に推進していく。

対象になるのか。

市長 対象となるのは、単独の自治区の組織だけでなく、複数の自治区が連携した組織も含まれる。積極的に補助金を活用して、防災の向上につなげていただきたい。

問 地域マネージャーの役割は非常に重要。担い手が不在の場合はそのまま活動を進めるのか。

市長 4地域での確保に課題があり、人材の発掘や支援を強化する。不在の場合でも、市民局や共生ステーションの体制を活用し、活動が滞ることのないようサポートしていく。

問 16名のドライバー確保で、廃止路線の通学は対応できるか。

市長 現在の車両では対応が難しい場合を想定し、ライドシェア車両の複数台やスクールバスの混乗利用の検討を進めている。

問 実証運行で利用が極端に少なかった場合の検証や対応は。

市長 地域に入り意見を聞く場を設け4月以降の運行につなげる。

新コミュの推進

問 新コミュで自主防災組織を設立した場合は、自主防災組織補助金の

公共ライドシェア

問 16名のドライバー確保で、廃止路線の通学は対応できるか。



初めての公共ライドシェアに乗車

録画配信はこちら



一般質問

削減可能性自治体からの脱却。持続可能な自治体とは

労働・子育てなどの環境整備とジェンダー平等の確立

市長



翔和会
たがの かずひこ
多賀野 一彦

問 昨年一年間で合併以来最大の人口減少（千人強）となったが、その要因、分析は。

市長 少子化と高齢化による自然減に加え、コロナ禍の背景から改善できなかったことによる若者の転出増、転入減と推察している。

問 若者回復率を向上させるためのジェンダーギャップ解消策は。

市長 女性の活躍が築く地方創生のまちづくりを基本に掲げた講演会など実施している。

問 本市の民間企業内におけるジェンダーギャップの現状は。

市長 直近の数字として女性管理職比率10%、従業員の女性比率42%、男性育児休暇取得率14%である。

問 Uターン時における仕事に関するミス

マッチ解消策は。

市長 京丹後就職フェアや企業のガイドブック発行などを組み合わせたり取り組みのほか、全国最大級（10年間で最大360万円）の定住促進奨学金返還支援事業で、本市への就業を促している。

少子化について

問 本市の合計特殊出生率は全国平均よりも高いが、出生数が増えない要因は。

市長 20～30代女性人口の減少（直近10年間で約千人）と考える。

問 京都府が実施しているA-1を活用した婚活支援「きょう婚ナビ」があるが、本市での利用状況と課題は。

市長 男性36人、女性38人（全体2524人）。会員数は少しずつ増え

ているが、まだ認知度が低いのが課題。

問 子育て環境向上の一環として近隣市町には「病児保育」の施設があるが本市にはない。今後の検討は。

市長 急性期対策として、働く保護者にとつてのニーズは十分把握している。今後調査・検討していく。



「きょう婚ナビ」（京都府HP抜粋）

録画配信はこちら



一般質問

保育現場の負荷を減らしより質の高い保育の実現を

ICTやRPAの推進を続け働き方改革につなげる

市長



翔和会
やまもと ゆうた
山本 佑太

用状況は。

市長 登降園の登録や連絡、指導案の作成など多岐にわたる。業務の効率化により子どもに向き合う時間が増えたという意見がある。

問 第3次京丹後市定員管理計画に定められた保育士の人数要件を満たしているのか。

市長 計画では91名となっているもので5名不足している。

問 保育士の業務は責任が重いうえ、人数が少ない現状となると年次有給休暇の取得はできているのか。

市長 令和5年度は平均4.7日で取得率は11.8%。管理職は5.34%、それ以外の職員は13.58%。

問 令和4年度から導入した「コドモン」の活用状況は。

と考えるが取り組みはできているのか。

市長 防災会議の女性委員の割合も見直しを行い、課題意識をもつて取り組んでいる。

問 デートDV啓発活動の内容は。

市長 学生や教職員のみならず、令和6年度から、市民課の出前講座を加えて広く市民に啓発を行っている。



子どもの虐待とDV防止の啓発運動

録画配信はこちら



一般質問

市民に身近な予算がついていない現状があるが

市長
市民生活に影響のあるものは大切に査定している



政 溪 会

ひがしだ まき
東 田 真 希

問 財源が厳しい中、予算編成において廃止や抑制に各担当課も苦慮している。政策的事業をどのように取捨選択しているのか。

市長 公約に基づくトップダウン、各部署が現場のニーズに基づくボトムアップの双方があり、みんなで検討し丁寧に判断している。

問 今後大型建設事業の予定がある一方で市民に身近な公民館の活動経費の削減、公園の修繕されていない遊具、道路の舗装修繕も進んでいない。現状で安心して暮らしやすいまちと言えるのか。

市長 金額の多寡によらず市民生活に影響のあるものは大切に査定している。

問 公約の取捨選択をしないのか。

市長 これまでから行なっている。公約は進めたいが財政状況や他の政策課題など市政全体を中長期展望しながら査定していく。

子どもの文化芸術振興・グローバル人材育成について

問 文化芸術は心を豊かにし、暮らしに潤いを与えてくれる。特に子どもたちから本物の芸術文化に触れる経験が重要で充実させる必要があるが。

教育長 重要で大切な。本物の文化に触れる機会を数多く提供している。地域の方の作品に触れたり、交流の機会を持つことで裾野を広げていく。各種団体とさらに連携を充実していくために国府の制度を利用していく。

問 文化芸術やグローバルな視野を持つ子どもたちの可能性を伸ばす人材育成など、ソフト面に投資をすべきだと考えるが。

市長 子どもたちがそれぞれの分野で夢や志を持って頑張ることのできる環境、魅力ある先端的な教育環境をしつかり進めていく。



修繕されないままの公園遊具

録画配信はこちら



一般質問

本市観光推進計画の進捗状況は

市長
平準化率は目標を達成、おむね順調に進捗している



政 溪 会

わだ すむ
和 田 晋

問 観光消費額が伸びている要因は。

市長 観光庁の高付加価値化事業により、収益が高まっている。

問 活イカの取り組みに期待が大きいですが、漁獲が少なく供給が足りない。今後の対策は。

市長 民間レベルで漁獲を増やす取り組みを検討。プロトン冷凍など新たな供給体制も検討する必要がある。

問 インバウンド誘致促進のため、改めて環境整備に取り組みむべきと考えらるかどうか。

市長 事業者の声を聞きながら、必要な政策を検討していきたい。

問 山陰近畿自動車道、兵庫側から京都府に向けた延伸の取り組み状況はどうか。

市長 兵庫側は、城崎から府県境までのルー

トを検討中。京都府側は今後2kmの幅で久美浜までのルート帯が決定する。今年豊岡市と意見交換を開催し、府県境の早期整備に向けて連携して取り組むことを確認した。

区への依頼事務について改善が必要

問 配布物の量が多く、改善を望む声が以前からあるが、解決に向けた具体的な検討がなされていない。改善に向けて市の見解は。

市長 規格の統一化、配布物の減量など、課題意識を持って取り組んでいきたい。

問 法改正により高校生も投票立会人になれる。地区への負担軽減につながり、主権者教育の効果も高い。市の考えはどうか。



改善が望まれる区での配布物

録画配信はこちら



一般質問

子育て環境日本一、その言葉の意図は

市長
京丹後らしいオンラインワン
と認識している政 溪 会
こ ま き ひろあき
小 牧 裕 幸

子育て世代へ経済的支援策を

問 3歳未満の保育料と保幼小中の給食費の無償化の取り組みは。

市長 市独自の施策として第3子以降の保育料を完全無償化を実施し、充実を図っている。給食費については、物価高騰の影響もあるが、200円給食を維持し国の動向を注視し、引き続き検討したい。

市長 市独自の施策として第3子以降の保育料を完全無償化を実施し、充実を図っている。給食費については、物価高騰の影響もあるが、200円給食を維持し国の動向を注視し、引き続き検討したい。

天候に左右されない屋内のあそび場の確保を

問 都市拠点整備までの屋内のあそび場確保は。

市長 既存の施設の活用も含め検討していきたい。

小学校の通学路の安全確保、整備状況は

問 京丹後市通学路交通安全プログラムの進捗

状況は。

教育長 令和5年度末で未完了が26件、内13件が今年度完了予定。来年度以降も継続し取り組み。

問 プログラムに記載のない箇所についても歩道が狭い道路が散見される。改善に向けた取り組みは。

教育長 合同点検で新たに7カ所ということ、積極的な改善に向け検討を進める。

所得税「103万円の壁」問題について

問 基礎控除103万円から178万円へ引き上げられた場合の本市の税収減額見積額は。

市長 令和5年度税収額での試算で約8億7000万円の減額。

問 本市への財政の影響について、現時点での

市長の見解は。

市長 国としては、緊縮的な財政運営でなく経済をダイナミックに動かす、税収を上げていくことをベースに議論していると聞いている。地方交付税での補填を大前提として、必要に応じて応じていく。



通学路交差点付近

録画配信はこちら



一般質問

ワクチン政策による予防医療、市の考えは

市長
市民の健康を守るため非常に重要な施策政 溪 会
た に つ のぶゆき
谷 津 伸 幸

問 子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種の現状と、带状疱疹ワクチンやRSVワクチンの効果と接種状況はどうか。

市長 3回接種完了は34・1%。ワクチン不足も指摘されるが、本市では充足している。

带状疱疹ワクチンは50歳以上が対象で、発症予防効果は高い。RSVワクチンは乳幼児や高齢者に効果がある。任意接種であり接種者数は少ない。

問 公費助成についての考えは。

市長 定期接種は公費助成だが、任意接種は原則助成していない。

窓口業務のDX、利便性が感じられないが

問 窓口業務DXの遅れを感じる。市民の利便

性向上のため、どのような取り組みを行っているのか。特に、マイナカードの活用やAI、RPAなどの技術導入について、現状と今後の展望はどうか。

市長 窓口業務のDXは重要な課題であり、マイナカードの活用やオンライン申請の導入など、さまざまな取り組みを進めている。BPRを進めており、将来的にはAIやRPAの導入により、さらに業務効率化と市民サービスの向上を目指す。

公共施設等総合管理計画、適切に進められているのか

問 公共施設の老朽化が進み、廃止や譲渡が予定されている施設が多い中、市民の意見が反映されていない。これ



街中に放置された幼稚園跡地の利活用を

録画配信はこちら



一般質問

合併特例債が終了するが
今後の予算編成は

市長

限られた財政運営の中で事務事業の見直しも図る



政 溪 会

さくらい ゆうさく
櫻井 祐策

問「京丹後市財政強靱化戦略仮称」の動きとして、内閣府へ要請活動をした内容は。

市長 地方に積極的な投資を安定的、長期的にわたり要請し、国の財政規律を検証して次世代の財政規範の検討を要請した。

問本市の市民所得を上げることは、産業・社会・生活のニーズや消費者欲求のマーケティングを通じて本市の付加価値の向上を図ることであり、まずは産業連関表の作成が必要だが進捗状況は。

市長 現在は市内生産額の推計まで算出しており、今年度中に完成できる。今後、地域経済の構造を把握できるものであり、新経済戦略に活用予定である。

今後の農林水産業の構
想について

問漁業における現状と課題、展望は。

市長 担い手不足が大きく、またデジタル技術の活用推進に課題がある。高温化により収入が不安定となる懸念がある。府と連携し、人材育成や天候に左右されない養殖事業の推進など事業者の安定収入を図るための支援を行う。

問今後の丹後王国「食のみやこ」を地元機械金属と連携した、農林水産業の水耕栽培、陸上養殖などの先端技術の開発の産業ハブ的な位置づけとし、更に府の「丹後・知恵のものづくりパーク」と連携した考えは。

市長 丹後王国「食のみやこ」内に軽量鉄骨ハ



農林水産業のさらなる振興施策を

ウスなどがあり、市内事業者と農業ハウスを活用検討する。また、府の「丹後・知恵のものづくりパーク」は以前、丹後資源活用推進事業で魚の選別機の開発をした経緯があることから、農林水産業を先端技術開発の連携した取り組みを進めて行きたい。

録画配信は
こちら

一般質問

温室効果ガス削減に向けて
課題は

市長

さらなる意識醸成や省エネ再エネの促進が必要



政 溪 会

の ぎ の り た か
野 木 教 貴

問温室効果ガス削減へ向けた本市の取り組みは。

市長 各種啓発事業の実施、省エネ再エネに係る設備の導入を支援する補助制度の実施、公共施設における環境マネジメントシステムによる情報の見える化。国の補助金を活用した再エネの導入や照明LED化による省エネに取り組んでいる。

問温室効果ガスの削減目標は。

市長 削減目標を2013年度の基準年度に比べ2030年度の中間目標年度に50%の削減を目指し、そして2050年にカーボンニュートラルの実現を目指している。

豊かな自然環境によって育まれる食の可能性

問本市の食と観光に対する考えは。

市長 美食都市アワードの受賞を励みに、旬の食材を生かした通年型観光やヘルスツーリズムの本格的な推進や美食都市のブランドイングリ化を観光につなげた。

問学校給食の食育に対する考えは。

市長 生産者の参画や教育現場と行政各部署が連携して進める予定だ。また、今年度初めて1週間にわたり市内有機米を提供した。これはオーガニックヴィレッジを目指す本市の持続可能な環境保全型農業の推進を学ぶ観点からも重要である。

脱炭素型農業の普及について



美食都市アワード受賞を励みに

録画配信は
こちら

一般質問

京丹後の食を生かしたまちづくりと魅力発信は

市長
食の旨さ、誇りを持って説明できる取り組みが重要政 溪 会
よしおか まさかず
吉岡 正一

問 食の旨さをもっと情報発信し、食による地域観光振興を図る必要は。

市長 美食都市アワード2024では京丹後の食の創造性が評価された。食を通じ社会的・文化的な豊かさを観光・健康長寿分野に広げる取り組みが重要。

市長 認知症高齢者の増加状況も踏まえ、高齢者の見守り活動など福祉施策の充実を図る総合計画を検討中。

市長 観光振興予算を増額し国際交流による誘客を図り、丹後地域の中心となって地方創生を実現する必要がある。

市長 大阪関西万博を機

に大阪観光局、京都DMOと連携し健康美長寿の取り組み、ヘルスツーリズムの推進、周遊観光によるインバウンドの拡大を図る。

地域防災

問 水道施設の耐震化と今後の整備状況は。

市長 基幹管路の耐震化は34%、浄水施設は全国平均に比べ低い。今年度中に経営計画を策定し老朽化・耐震化対策を行う。

問 災害発生時の避難所運営、施設内のスペース割は誰が行うのか。

市長 防災直後は市職員や自主防災組織。避難生活が長期となる場合には区長や避難者代表による指定避難所運営委員会において役割分担を明確化し、避難者自らが運営を行う。



美食による観光政策、より一層の推進を

問 避難所における排泄物の処理や掃除の役割は誰が行うのか。

市長 避難者が相互に助け合って、役割分担に基づき行う。

問 自主防災組織への防災指導対策は。

市長 消防本部により出前講座、初期消火訓練・防災資機材の取り扱い指導を実施。

録画配信はこちら



一般質問

子育て環境日本一は達成できていないが

市長
まだまだ課題が多い政 溪 会
いけだ けいいち
池田 恵一

問 市長がマニフェストで掲げた「子育て環境日本一」は、まだ達成できていないが。

市長 子育て環境とは安全・安心して子育てできる環境など総合的な子育て環境日本一を目指す。まだまだ課題が多い。

問 市長は社会全体で子育てできる環境を目指すと言われるが、どのような状況が社会全体の子育てなのか。

市長 安心して子育てできる環境がどこにも負けないレベルを目指す。具体的には、家庭だけでなく、学校だけでなく働く環境であったり、地域の遊び場であったり総合的な子育て環境である。

市長 現在新たな遊び場を作る予定はない。

問 現在足りているとの認識か。

市長 アンケートでは雨の日の遊び場がないと認識している。現在の都市拠点の中で整備していきたい。

「静の里」の今後の見通しについて

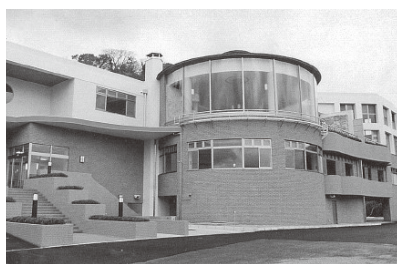
問 静の里について、新たな観光施設を整備すると聞いているが。

市長 今後の活用について、京丹後市観光立市推進会議より、公民連携型の施設を提言いただいている。

問 具体的な方向はまだできていないのか。

市長 提言をいただき観光振興課で検討しているが、具体的にはできていない。

問 温泉プールについて



どうなる静の里

録画配信はこちら



一般質問

介護事業、福祉事業へ実効性ある支援を

市長

福祉サービス事業者協議会
と連携していく

日本共産党

たなか くにお
田中 邦生

問 介護事業所や福祉事業所は、訪問介護や障害者グループホームの基本報酬基準の大幅引き下げに加え、物価高騰と職員不足で厳しい事業運営である。

利用者から事業継続について将来不安の声が寄せられている。

他市では、事業継続へ緊急安定経営事業者支援給付金で支えている。本市においても実効性のある対策が求められているがどうか。

市長 令和4年度以降、介護と障害分野を合わせデイサービスやヘルパーなどの事業の廃止が4件、ショートステイなどの事業休止5件など、人材不足が原因である。

市は介護福祉士の資格取得に対する奨学金制度や人材確保に対す

る予算、障害者グループホームの整備補助金などで支援している。国や府、福祉サービス事業者協議会と連携した取り組みに注力していく。

住宅リフォーム助成を

問 市民は、建築材などの高騰で改修をちゅうちよしている。工務店は、受注が取れず経営が厳しい。市は、緊急不況対策として住宅リフォーム助成を実施すべきだがどうか。

市長 地元業者へ発注で地域内循環の促進に寄与するが、住宅は個人資産であり条件は慎重に検討する必要がある。現在実施している各種の住宅リフォーム助成を継続して効果を評価し、情勢に応じて制度の見直や拡充につ

いて検討する。

有機米栽培拡大を

問 学校給食への有機米提供の結果と今後の取り組みはどうか。

市長 12月に5日間、すべての小中学校で有機米給食を実施した。来年の給食は10日間に拡大する。有機農業実施計画の中で、栽培面積や生産拡大について具体的に検討する。



物価高騰と職員不足へ支援を

録画配信はこちら



一般質問

災害時に避難所となる学校体育館への空調設置を

教育長

学校長寿命化とあわせて計画的に行っていきたい



日本共産党

はしもと こと
橋本 まり子

問 災害時避難所となる学校体育館の空調設置の最大の課題は財源の確保だ。能登半島地震後、国の財源対策の前進を充分活用し、空調計画を着実に前に進めていくべきだが。

教育長 自治体負担実質3割の緊急防災減災事業債を活用した場合、あくまで概算だが、中学校で、1校につき約3千万円、小学校規模で1800万円程度の市負担と考える。さらに新たな空調整備交付金も新設される予定と聞いている。これらの財源活用を考慮し、関係部署と連携し、学校長寿命化工事の中で、計画的に取り組む。

を全ての被保険者に配布することで、受付機での受付ができない場合などでも対応ができる。医療機関、市担当職員の事務作業の軽減、介護施設での保険証預かりの利便性などメリットが大きいがどうか。

市長 「資格確認書」は、マイナ保険証の使用ができない方に交付するという国の法律に基づいて行う。マイナ保険証のある方には「資格情報のおしらせ」を送付する。

作業所通所者の給食

問 作業所通所者からの要望が強い、給食費補助の復活は。

市長 通所者に1食100円の補助ならば、154万円かかる。交通費や、物品販売など他の支援をしている



給食補助費の復活は作業所通所者の強い願い

録画配信はこちら



一般質問

災害用備蓄品の保管場所が
老朽化しているが市長
備蓄品を良好な環境で確保
するよう努める日本共産党
ひらばやし ちえみ
平 林 智江 美

問 災害用備蓄品の保管場所について、廊下が壊れるなど老朽化した施設ある。食品を置く場所にふさわしくない。整備または、別の場所に保管すべきではないか。

市長 指摘のとおり老朽化している箇所もある。保管場所の移転、施設の修繕などの検討を行い、物資の良好な環境を確保して、災害対応に支障をきたさないよう努める。

問 避難場所以外の自宅などに避難している市民への支援はどうなるか。

市長 在宅避難者についても災害対策基本法で、必要な生活関連物資の配布を行うとなっている。

問 大雨の時、久美浜町の川上谷川沿いに、い

つも避難指示が出される。河川改修計画はどのようになっているか。

市長 府の河川改修計画に基づき進められており、事業進捗は現在7割程度である。

府に引き続き予算要求を強く要望していく。

プラスチック循環は

問 プラスチック資源の循環や再生利用に関する協定を(株)TBMと令和3年4月に結んだ。何か実現したことはあるのか。

市長 事業連携としては、実現していない。プラスチック資源の再生利用は、関西方面での再生工場整備に合わせ検討していく。

正規保育士の確保を

問 国が保育士の配置基準を見直した。市内の

配置基準はどうなっているか。

市長 園児の募集が終ったところなので、クラス編成をどうするかこれから決める。今のところ足りる。足りないところは会計年度任用職員を考える。

問 正規保育士確保についての取り組みは。

市長 高校に職員が出勤き、仕事のやりがいや魅力を伝えている。



新しい防災倉庫

録画配信は
こちら

一般質問

わずか1カ月で落下した橋
原因は何か市長
下部より強い波の衝撃によ
り真半分に大破日本共産党
みなもと しんいち
源 進 一

問 堤防に架けた橋が完成後1カ月で落下した。残ったH鋼にはネジ穴もなく、以前の半分程度の厚みの盤を置いただけである。住民からは設計ミスではないかとの声があるが原因は何か。

市長 原因は強い波の衝撃が下部から橋に加わり破壊されたと考えている。落下当日、全国的に海は荒れた状態で、潮位の高さも加わり、これまでにないような強さの波が発生したと推測している。

問 漁業者に限らず利用されており、早期に解決をすべきだがどうか。

市長 この橋については漁業活動に不可欠でもあるので、早期に再復旧する必要があると考えている。再び同様のことがないよう原因分

析を行うとともに、しっかりと地元の漁業者の意見を伺いながら復旧に努める。

浄水場の管理について

問 浄水場内のろ過池から取り出されたる過砂が傍らに積み上げられている。ろ過池よりも高く積まれているところも見受けられ、さらに雑草で砂が覆われている状態にある。

飲み水を扱う施設であることから市民が水質不安や、管理業務に疑問を持つのではないかと危惧する。問題はないのか。

市長 砂の表面の浮遊物の堆積によって取水能力が減少する。ろ過能力の確保を目的に定期的に砂の削り取りを行う。およそ40cmを目安に積み上げていた。



漁港の落下した橋

録画配信は
こちら

一般質問

公共施設の延床面積を市民
数で割ると増えているが市
長
延床面積で見ると約3万㎡
減っている無 会 派
まつもと しゅうじ
松 本 聖 司

問 12年前に、公共施設の多さによる財政の持続可能性に問題意識を持ち、一般質問をした。総合管理計画策定から10年が経過するが総括を求める。

市長 成果は一定あったがさまざまな要因で計画通り進捗していない。次の計画では住民参加型のプロセスを充実し

合意形成に努める。公民連携の取り組みも推進し、公共施設の見直しを進める。

問 公共施設の市民1人当りの延床面積が以前は、6・39㎡が、6・83㎡と増えているが取り組みが不足していないか。

市長 調査時点の延床面積が約39万㎡、令和3年3月で約36万㎡、約3万㎡減っている。施設の廃止や譲渡につい

ては市民への影響があり、理解と協力が必要である。除却、解体についても財源の問題があるが進める。

問 過去には高齢者施設を廃止から継続にした事実があった。施設の廃止や事務事業のスクラップに対し政治姿勢が消極的と職員が認識しているのでは。

市長 管理計画を立てた当初の個別目標の達成に一定の課題があった。施設の廃止判断については、費用に対する便益による。市民に丁寧な説明をしながら計画を進めていきたい。

問 今後30年間で生徒数が大きく減少するので、学校施設の長寿命化計画と学校適正配置はリンクして考える必要がある。長寿命化で30年間校舎を使用するのか。



除却が求められる旧五箇小学校成路分校

録画配信は
こちら

あるいは10年単位での適正配置を優先するのか。今のふたつの計画では、どちらかを犠牲にする可能性があると考えるが。

教育長 峰山中学校、丹後中学校から長寿命化工事を考えていたが、最新の情報に対応し柔軟に考えていく。

一般質問

新コミュ事業、一斉スター
トは無理がないか市
長
遅れそうところは相談を無 会 派
ながい ともあき
永 井 友 昭

問 来年度より実施の新コミュ事業、地域差があるが無理はないか。

市長 地域ごとに取り組んでいる。遅れそうな地域は相談を。

市政の諸課題

問 「みなと悠悠」が来年度4月には閉館と聞く。市に新たな負担が生じることはないか。

市長 事業者が解体撤去し、土地は地権者へ返却。市に負担はない。

問 事業者への財産譲渡が長期間進まず大きな課題であったが、市長の認識は。

市長 ご迷惑をおかけした。

問 旧橋小学校跡活用事業の失敗。事業選定に問題を感じるが。

市長 結果はそうだが選定は適正であった。
問 選定に外れた事業者

へのケアは。

市長 未使用公有財産の活用は市の基本だ。いろいろ検討したい。

問 宇川診療所、支援財源の再編交付金が尽きるが今後の運営は。

市長 宇川診療所は重要である。他の財源を充てていきたい。

米軍基地

問 発電機稼働の問題メンテナンス稼働の仕方や情報提供について米軍、防衛局に改善の動きはあるのか。

市長 特に聞いていないが、市は引き続いて適正な稼働と情報提供を求めている。

問 「キンソード25」の一環で、経ヶ岬でも大規模な日米合同訓練があった。その情報提供は十分だったか。

市長 防衛局の情報を10



旧宇川中に集まった自衛隊部隊

録画配信は
こちら

一般質問

最適なプールの規模、立地などを検討すべきでは

市長
多くの課題があるが、問題意識を持っている



無会派
なみ まきのり
鳴海 公軌

問 静の里は4月以降どうなるのか。

市長 観光立市推進会議から撤去すべきと提言を受けたが、市の対応はまだ検討中。

問 廃止した場合の健康活動への影響は。

市長 他の民間施設を活用いただきたいが、不便も起こる。どんな支援が可能か精査し、3月議会には示す。

問 静の里へ必要な設備投資がなかったが故に、利用者が減りさらに財政を圧迫させたのではないか。

市長 合併後、修繕費や工事費で約3億円かけてきた。みなさんに納得いただけるように努力を尽くしたい。

問 学校プールの維持も課題。将来の学校プールの改修費と水泳授業の意義をどのように認

識しているか。

教育長 故障した網野北小と同時期に設置したプールの更新費が11校約16億円と試算する。プール授業は命を守る術を伝える重要な教育活動。

問 他の立地での整備も含め、最低限の財政負担で学校授業でも市民も使えるプール整備を検討すべきだ。

教育長 プールの効果は理解する。問題意識を持って向き合うが、多額の費用はかかる。

敬老祝い補助金見直し

問 昔と今では、全体人口に占める75歳以上人口の割合や、注力すべき高齢者福祉政策が異なる。制度を見直すべきではないか。

市長 75歳以上の人口割合は平成17年15%、令



教育・健康のため、より良いプール整備を

録画配信はこちら



一般質問

スポーツを通じたまちづくりの課題からみた考察は

教育長
各団体や地域の方の積極的な関りで開催できている



無会派
さくま ひとみ
佐久間 仁美

問 スポーツを通じたまちづくりの展望は。

教育長 地域が持つ独自の資源を生かした、豊かな自然の中での魅力的なスポーツツーリズムの展開をしていく。

問 スポーツ協会や地域スポーツクラブへの協力体制は。

教育長 スポーツ協会と連携して推進している。また民間からの後援申請があれば、内容を審査し、チラシ配架の協力も行っている。

問 新たにスポーツクラブやチームを作りたい場合の支援体制は。

教育長 新規は特設設けていないが、必要な支援を考え、できる限り伴走する。

問 中学部活動の地域展開の市の考えは。

教育長 生徒がやりたい部活動ができ、世代を

超えて親しめる場を通じて成長を支える。

孤独・孤立対策について

問 市の相談体制はハードルが高くないか。

市長 相談者が一番相談しやすい方法が選択でき、プライバシーに配慮し匿名相談も可能。相談者の立場に立つて「寄り添い支援総合サポートセンター」が相談しやすい場所となるようさらに努める。

問 アウトリーチ活動が重要では。

市長 訪問活動や見守りネットワークで異変があれば通報いただき社会全体で見守る環境、セーフティネットを幾重にも重ねていく取り組みが大切。

問 ボランティアの情提供を市のブースの一



京丹後市寄り添い支援総合サポートセンター

録画配信はこちら



◆◆◆ 陳 情 ◆◆◆

陳情名	陳情者	結果
陳情第9号 改修・移転を含めて公営プールの存続を求めます	夜久 早百合	趣旨採択※

※趣旨採択は、陳情内容の全てを承認するのではなく、その「趣旨（目的や考え方）」だけを賛成して採択すること。

質 疑	問 委員会としては、趣旨採択すべきとの結論に至り、その趣旨はどのように整理をされたのか。	今回の陳情は、子どもから高齢者までのプール利用者が心身の健康維持のために、公営プールの存続を求めたものである。これに対し、財政負担とのバランスについて議論が行われた。
	答 陳情人にも何回か確認をした。市民の健康増進が最優先であり、プールを残す場所や方法については限定しないとのことだった。	
	問 具体的な費用の試算は示されたのか。	
	答 改修に5.8億円、年間のランニングコストが2千万円。新設では、解体工事が2億円。建設に5億円の費用が必要。	
	問 将来的に全ての小学校のプール授業が民間委託になった場合、対応は可能か。	
	答 小学校16校を6月後半から7月中旬の短期間で移行することになると	

賛成討論	●多くの市民がプールを利用し、健康を維持してきた。老朽化による廃止が検討される中、プールの存続を求める市民の真つ当な陳情として受け止めている。市民の利便性を保ち、健康増進を図るためにも存続は必要である。	 プールがある浅茂川温泉静の里	難しいが、長期間の中で授業予定を組めば対応は可能である。
	●多くの意見が寄せられた今回の陳情は、存続を求めるものであり、無理なら新設を望む声が多い。本市では、健康長寿のまちづくりが大きな柱となり、積極的に取り組んでいる。市民の多くの思いを受け止め、存続を実現するための努力をすべきである。		

趣旨採択賛成討論

●市民の健康保持・増進の観点からプールの必要性は大いに理解できる。学校のプールの維持管理や更新費用を考慮すると、公営プールの活用を学校教育に取り入れることは非常に効果的である。しかし、必要性には理解を示すが、財政見直しには多くの事業が含まれるため、直ちに存続や新設について議論する環境ではない。

●本市は広いため、全ての市民がプールを利用するのは難しく、民業圧迫の懸念もある。陳情の趣旨は理解をするが、多くの大型事業を控え、財政も厳しい中、存続しても利用が見込まれるかは難しい。

●健康増進のためのプール存続は理解できるが、活用策が十分に検討されていない中で5.8億円の改修費には賛成しにくい。市民のためにプールをどのように活用できるのか費用対効果や財源も含めて議論し検討すべきである。

【趣旨採択に賛成12・反対7】

◆◆◆ 賛否一覧 ◆◆◆

賛否の分かれた案件を記載しています。

会 派 名		議 案 の 可 否	政 派 会							日 本 共 産 党			翔 和 会		無 会 派						
案 件	議 員 名		谷 津	池 田	小 牧	櫻 井	野 木	東 田	吉 岡	和 田	田 中	橋 本	平 林	源	多 賀	山 本	由 利	佐 久	永 井	鳴 海	松 本
			仲 幸	恵 一	裕 幸	祐 策	教 貴	真 希	正 一	晋	邦 生	まり 子	智 江 美	進 一	賀 野 一 彦	佑 太	彰 基	間 仁 美	友 昭	公 軌	聖 司
令和6年度京丹後市一般会計補正予算（第6号）		修正案	×	×	×	×	×	退	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×
		原案	○	○	○	○	○	退	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○
京丹後市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
京丹後市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
改修・移転を含めて公営プールの存続を求めます		趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○

《凡例 賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除》中野勝友議員は議長職のため表決権はありません。

令和6年11月8日 峰山町、大宮町、網野町で開催



市民と議会の懇談会

○7月臨時会・9月定例会の概要報告 ○市政に対する提言、議会活動などについて意見交換

懇談テーマ「地域課題」

各地域サブテーマ：峰山（地域活性化）大宮（大宮町から見た京丹後市のまちづくり）網野（網野の地域づくり）
今回もカフェ方式（自由に対話のできるグループ形式）で開催しました。懇談会で出された意見や要望は必要に応じて各常任委員会で所管事務調査をするなどの対応を行います。

峰山会場

● 議会だよりを見ると市の決算は黒字であるが、財源に余裕があるのか。
● 網野交流センターについて、地元から建設する効果がわからない。十数億円もかけるのならもっと違うものに使ってほしい。



峰山会場

地域課題以外のご意見
● 空き家は多いが手放したくない。決断した時には傷みが激しく、リフォーム補助が必要。Uターンには補助があるが、地元に残った人には何もない。
● 廃園・廃校施設を民間への譲渡など有効活用をしていくべき。
● 地域間の交流や外出について不安がある。高齢

者に向けてわかりやすいライドシェア・モビのチャシを作成してほしい。
● newcomuについて、長岡は人口が1200人おり400戸以上の世帯数で、若い人も多い。一地区一公民館なので、あまりメリットがなく積極的な方向には向かっていない。

大宮会場

● 久美浜中央運動公園のトイレが簡易水洗化される予算が計上されたが、市内にはまだ未整備の公衆トイレが多くある。
● 丹海バスの路線廃止が決まり、高校生が通学に使えなくなり困る。
● 地域の自主防災の在り方について検討が必要ではないか。
● 農業の担い手不足が深刻な状況にある。
地域課題以外のご意見
● 小学校の規模が大きく違い、中学入学時に子どもたちがなじみにくい。

網野会場



大宮会場

● 網野市民局に関して、「待たされる」「相談室がない」などの課題は解決されていない。
● 網野交流センターについて、区民に十分な議論、賛否について深まっていない。現状の把握が必要ではないか。
● 静の里のプールについて、100件以上出されたパブリックコメントをどう生かすのか。また、結論ありきで進めているのではないか。さらには、浅茂川温泉、残せという声も聞くが、それには大変な費用がかかるようだが、その情報をしっかり表に出して説明せよ。

● 保健センターが福祉避難所になっているが、水害の場合など利用に課題がある。

地域課題以外のご意見
● 網野交流センターの駐車場は計画ではアスファルトのベタ舗装だが、環境の面からも芝部分も混ぜて雨水がしみこむようなものにしたらどうか。

委員会調査検討項目

・消防訓練の在り方
・京力農場プランの実態
・公衆トイレの洋式化
・バス路線廃止後の対応
・廃施設の実態・見える化
・網野市民局の課題と網野交流センター
今後、所管の各委員会において、調査を実施する。



網野会場

市民の 声

趣味のアマチュア無線と防災

網野町 吉岡 淳一

「ツー・トン・ツー・トン・ツー・トン・ツー・トン・ツー・トン・ツー・トン」これはモース信号で、タンゴと言います。

2024年12月丹後町の丹後小学校で6年生19名を対象に電波教室を始めました。

最初はラジオの制作を計画していたのですが、見本を室井校長にお見せしたところラジオが全く入らないのです。慌てて玄関で聞いても入りません。丹後はNHKラジオが入らないのです。「これはいかん」と急遽方針を変えて電子ブロックに切り換えました。電子ブロックならモース信号、うそ発見器等々種類は沢山あります。私が丹後に帰って来る時京都の得意先の専務が「アマチュア無線をしたらどうだ」と言っただけで資格を取って帰って来まし

た。趣味でハム仲間と交信を楽しんでいる頃京丹後市が発足、六町のハム仲間と相談して「京丹後市アマチュア無線災害ボランティア」を立ち上げ2006年3月、京丹後市と災害協定を結びました。



電波教室

「緊張して心臓がバクバクだったけど、うまく話せた」「宇宙飛行士から〇〇さんって名前を呼ばれてめちゃくちゃうれしかった」と作文に書いた子もいるなど、交信は大成功でした。

今度は本物の宇宙飛行士を子供たちに会わせたくて2017年3月、山崎直子さんに丹後に来て頂きISSと交信した中学2年生を中心に講演会を開催しました。

質疑では、山崎さんが会場に降りて質問に答え「一つ一つの体験が夢につながる。夢を見つけて」との激励に、大盛り上がりでした。



講演会ポスター



山崎直子さんと小生

2017年2月、網野北小で6年生41名に電波教室、2019年11月には橘小学校の6年生14名でラジオキッド組立て等催しました。

災害関係では2024年3月、FMたんどと災害協定を結び、災害時にはアマチュア無線からの災害状況をFMたんどで市民に情報提供いたします。

毎年実施される京都府及び京丹後市防災訓練に参加して訓練も行っています。

最後に、7回目の千支を迎えた小生、寄稿させていただけますことに感謝申し上げます。

あとがき

「春よ来い、早く来い」は、みなさんご存じの童謡の冒頭の歌詞です。みなさまの手に紙面が届くころには、暦の上では立春を迎えており、春の訪れを心待ちにされていることと思います。

ところで、「氷（雪）がとけたら何になるか」との問いかけに、「水になる」と答える人、「春になる」と答える人に大別されます。一般的には前者は左脳人間、後者は右脳人間と呼ばれます。

また、近年テレビ番組の影響で、四季を愛でる日本固有の「俳句文化」にスポットが当てられる機会が増えてきました。私も感化され、歳時記を読み、季節の移ろいを表す言葉を発見し、喜び、リラックスの時間としています。

「雪とけて 村いっぱいの 子どもかな」は、小林一茶が詠んだものですが、家の周りの春の訪れとともに、にぎやかな声が聞こえることを楽しみにしています。



◎ 広報編集委員会

(前列右から)

委員 田中 邦生

委員長 松本 聖司

副委員長 東田 真希

(後列右から)

委員 多賀野 一彦

委員 吉岡 正一

委員 櫻井 祐策

委員 野木 教貴

委員 由利 彰基

